

# 2018年9月期 第3四半期決算説明会

---

テーマ：調達、投資、成長の循環による更なる企業価値の向上

2018年8月10日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社  
(東証一部 3769)

第54回

**GMO** PAYMENT GATEWAY

<https://corp.gmo-pg.com/>

# 当資料取扱上のご注意

---

本資料に記載された内容は、2018年8月10日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

# アジェンダ

---

1. 2018年9月期 第3四半期業績サマリー
2. 今後の取り組みと成長戦略
3. 財務ハイライト
4. 参考資料等

---

# 1. 2018年9月期 第3四半期業績サマリー

# 1.1 サマリー

## 営業利益60.0%増 (Jベース+28.7%)、通期計画80.2%の進捗率

### ■業績面

(百万円)	2017年9月期 3Q累計実績	2018年9月期 3Q累計実績	前年同期比	2018年9月期 通期計画	2018年9月期 通期計画進捗率
売上収益	15,362	19,122	+24.5%	26,107	73.2%
営業利益 (J-GAAP)	3,243 (3,937)	5,190 (5,068)	+60.0% (+28.7%)	6,475 (6,269)	80.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	2,064	3,016	+46.1%	3,933	76.7%
EBITDA <sup>※1</sup>	3,815	5,894	+54.5%	-	-

KPI <sup>※2</sup>	稼働店舗数 (3Q末)	決済処理金額 (3Q)	決済処理件数 (3Q)
	93,450店 <sup>※3</sup> (+5.7%)	約8,600億円 (+24.6%)	約3億4,800万件 (+24.0%)

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ※2 対面決済分は含まず、()内は前年同期比

※3一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により過去と比較し伸び率が鈍化 (当要因を除くと16.5%増)

### ■財務面

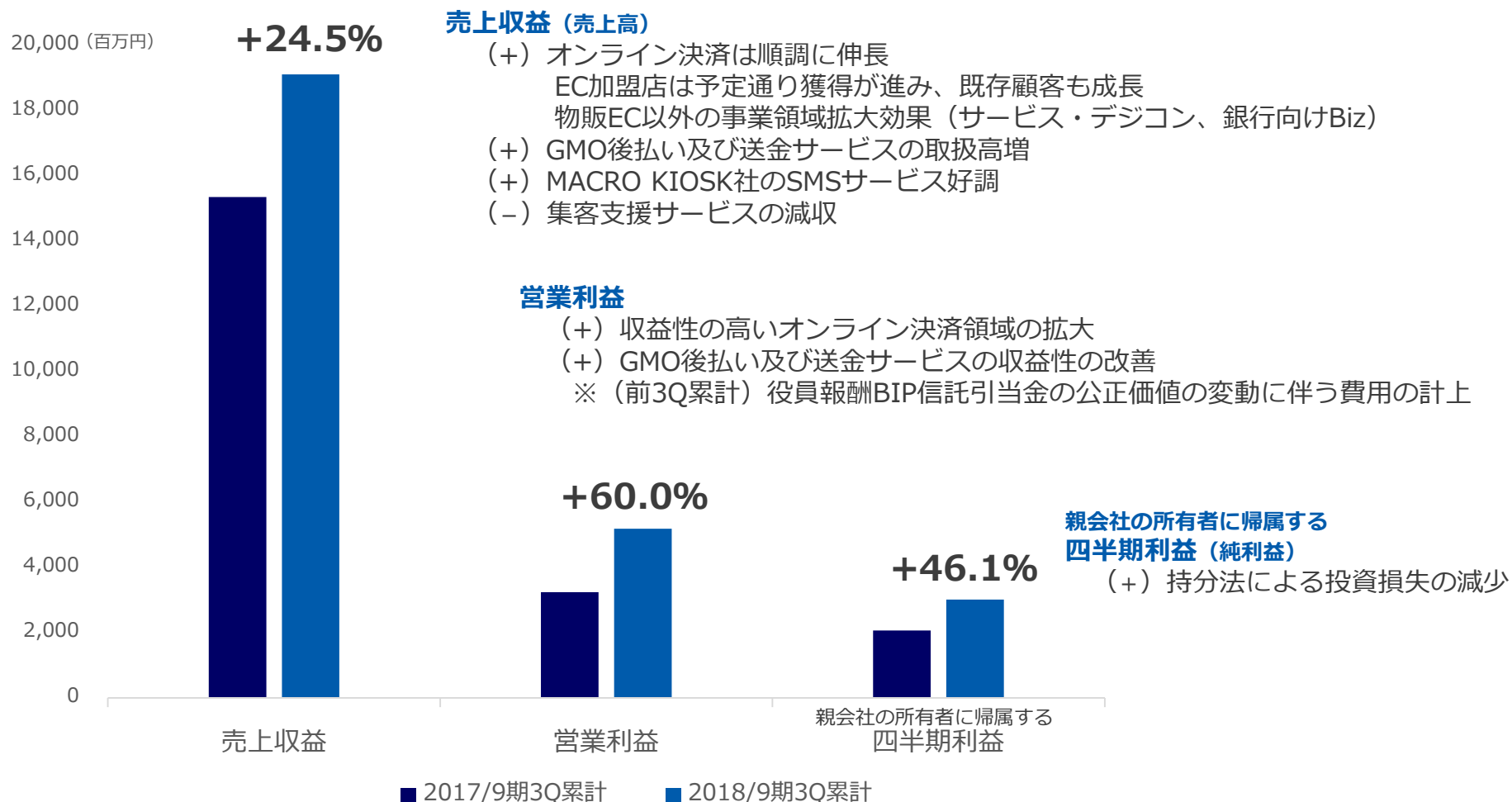
- ・175億円の資金調達
- ・株式分割 (1:2)

ユーロ円建転換社債発行

基準日: 2018年9月30日 (実質的には9月28日)

## 1.2 業績の変動要因

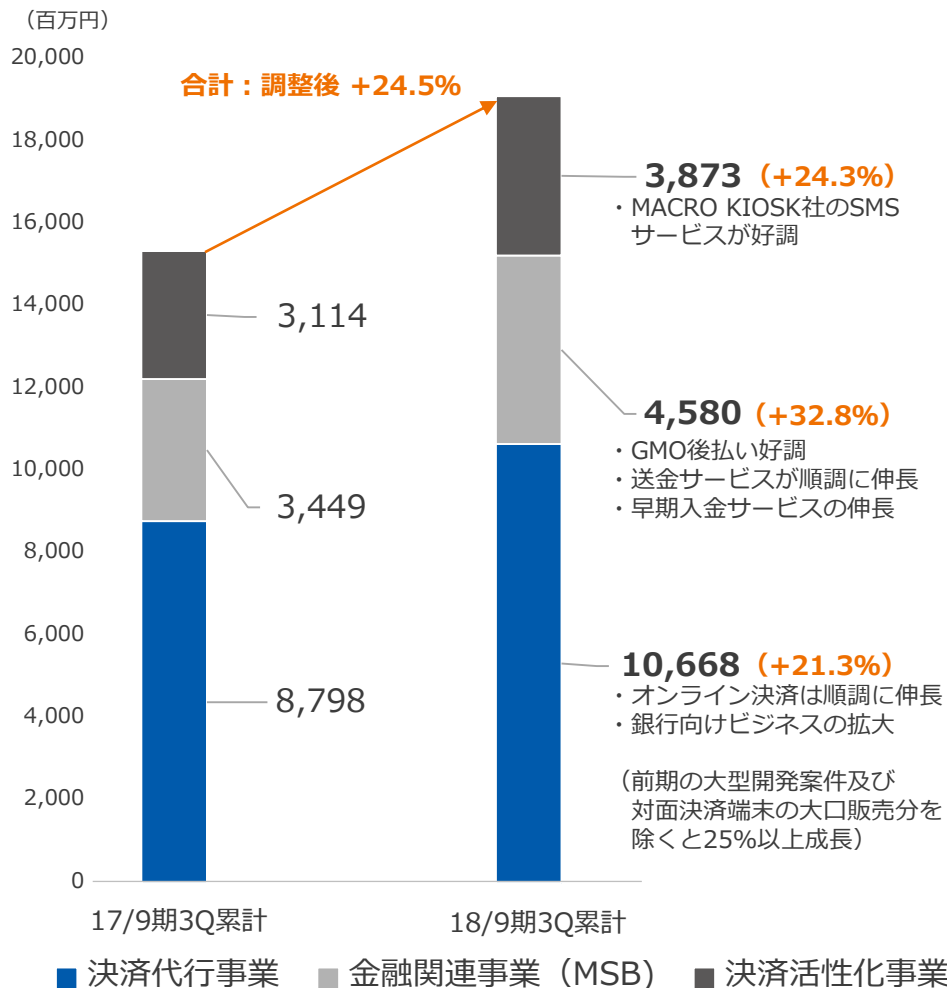
### 第1四半期より連結財務諸表を国際会計基準（IFRS）にて開示



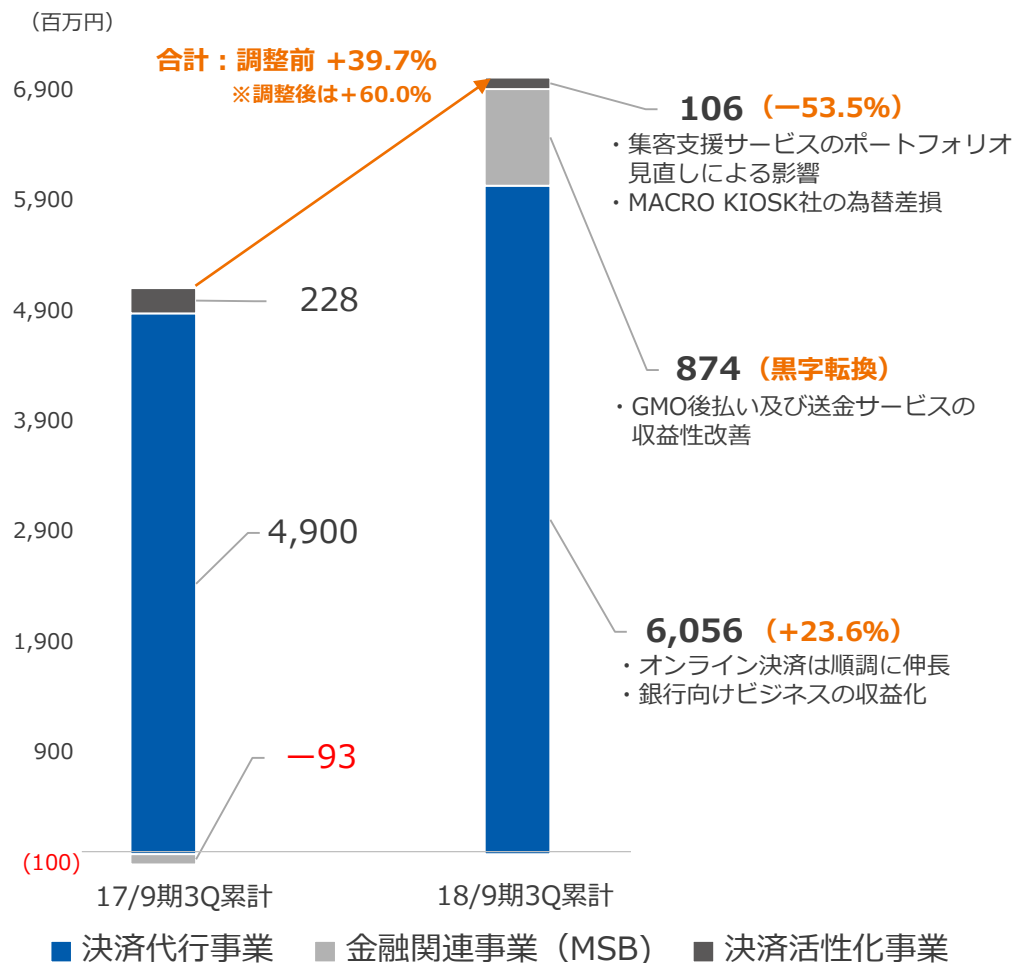
# 1.3 セグメント別売上収益・営業利益

## 決済代行事業23.6%増益、金融関連事業は黒字転換

■ セグメント別売上収益

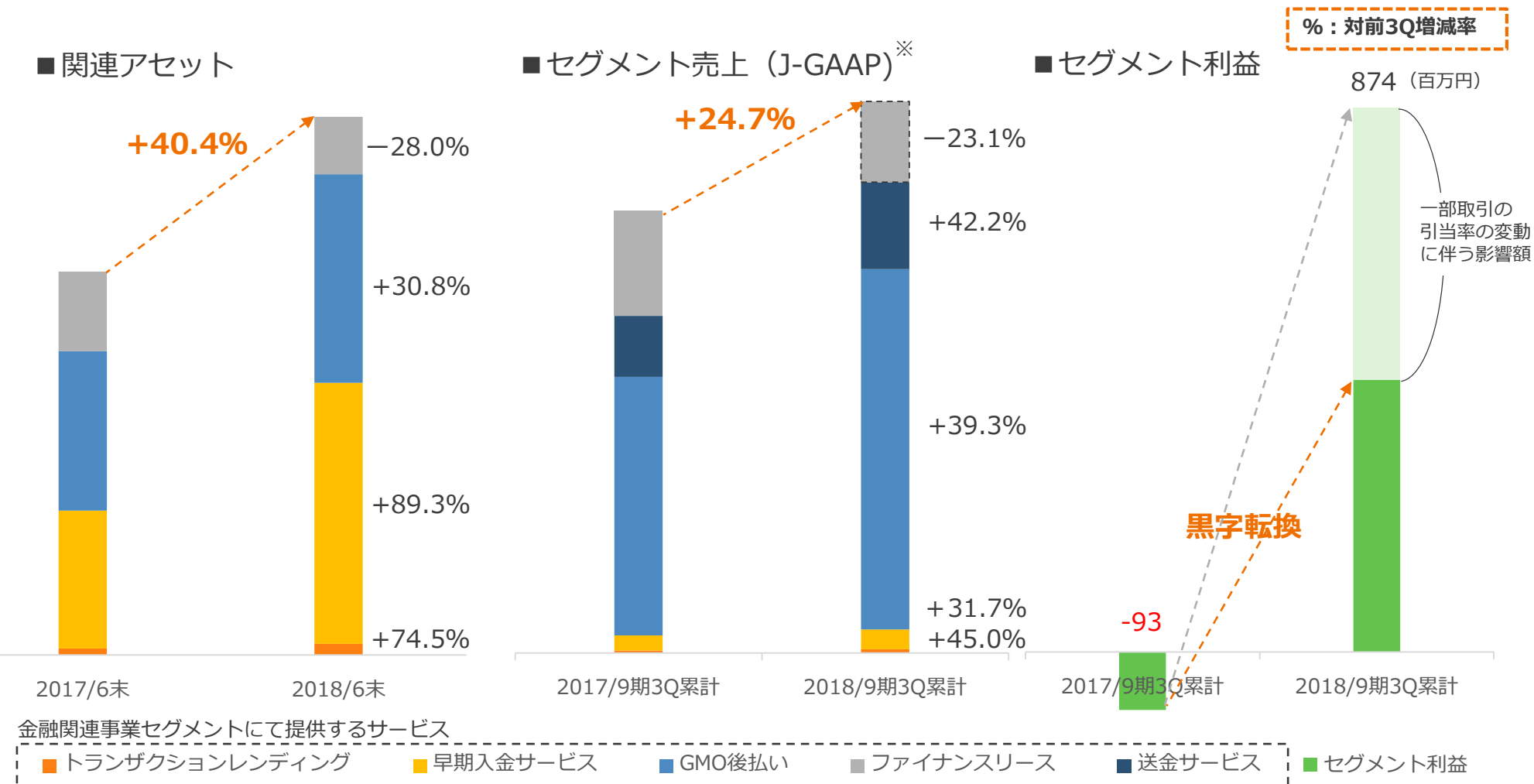


■ セグメント別営業利益 (連結調整前) ※ ( ) : 前年同期比



# 1.4 セグメント：金融関連事業

## MSB関連アセット40%増、収益性も改善されセグメント利益が黒字転換

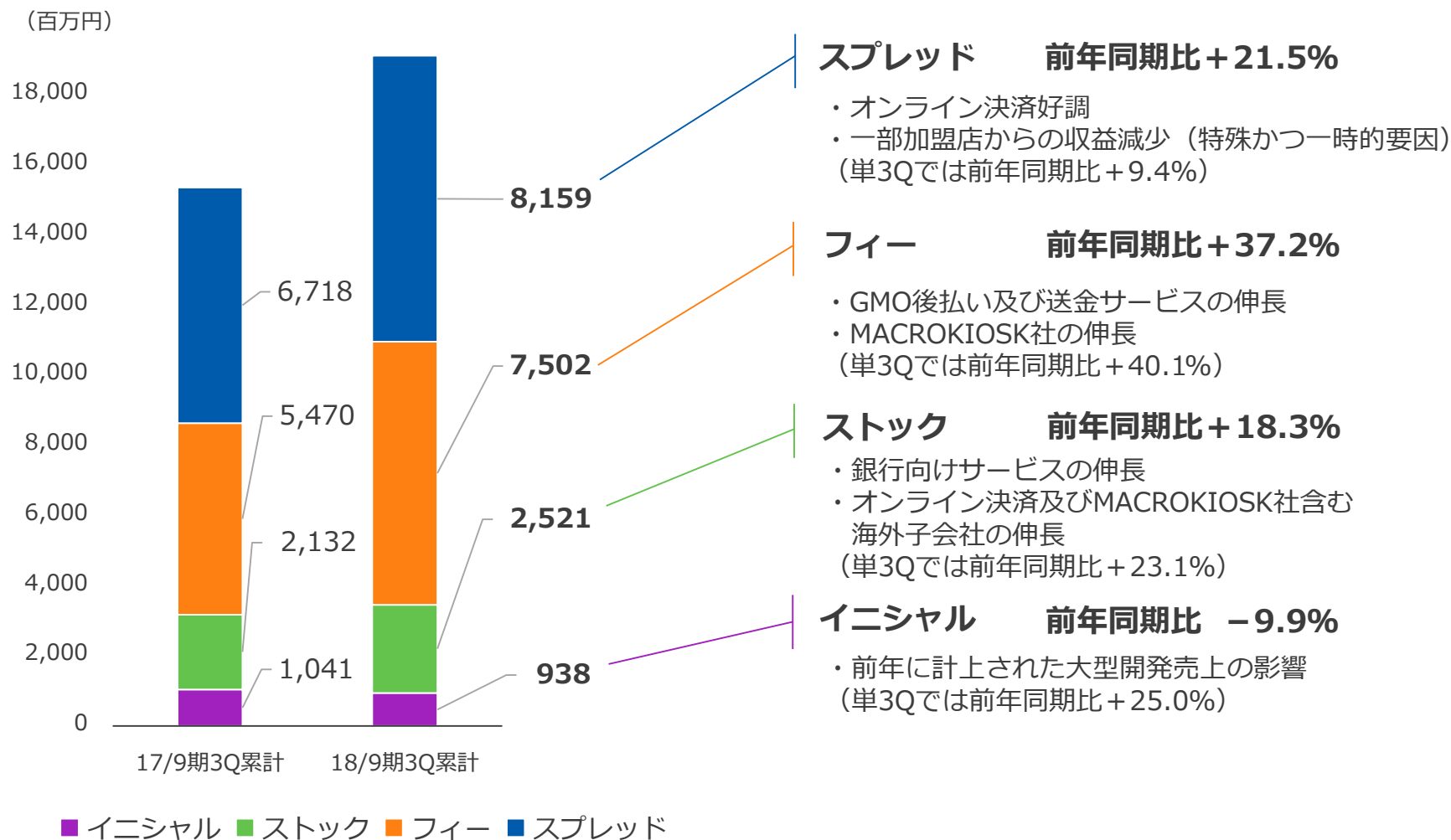


※セグメント売上のグラフは前年同期比較のためJ-GAAPベースの参考データ



# 1.5.1 ビジネスモデル別売上収益

## フィー、スプレッドの順調な伸長と、銀行Biz拡大に伴うストック増

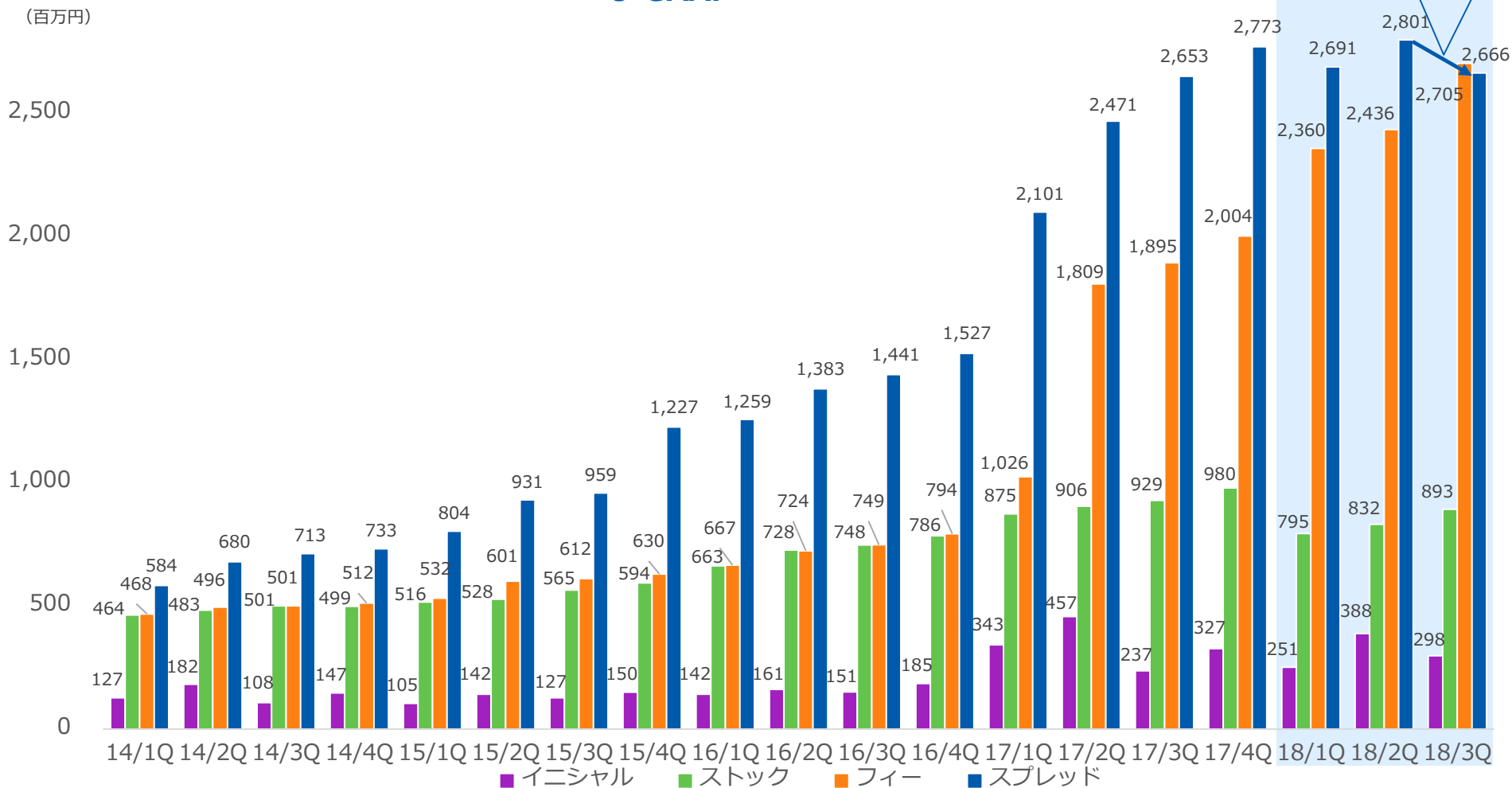


# 1.5.2 ビジネスモデル別売上収益

## 収益に関わるビジネスモデル毎の四半期推移

J-GAAP

(百万円)



一部加盟店からの収益減少  
(特殊かつ一時的要因)

※ IFRS

※集客支援サービス（ストック）とファイナンスリース（スプレッド）の売上計上基準がIFRS適用によりグロスからネットに変更

---

## 2. 今後の取り組みと成長戦略

## 2.1 調達→投資→成長

### 適時に資金調達と事業投資を実行し企業価値を向上

#### 調 達

IPO

2005年4月4日  
東証マザーズ上場  
約**12億円**調達

第三者  
割当増資

2015年6月25日  
約**80億円**調達

ユーロ円建  
CB

2018年6月19日  
約**175億円**調達

#### 投 資

- ・既存システム強化の投資  
(カード決済からマルチ決済  
への移行)

- ・FinTechサービス  
送金やレンディング開始  
早期入金サービス拡充
- ・合併会社設立
- ・北米及びASEANへの投資を開始

- ・注目5分野 (EC・FinTech・  
キャッシュレス・IoT・  
グローバル) における事業拡大
- ・FinTech拡大に伴い増加する  
運転資金や貸付金等  
(海外レンディング)
- ・新たな金融サービスへの投資

#### 成 長

- ・継続的高成長のための  
事業基盤を確立
- ・総合的な決済代行会社へ

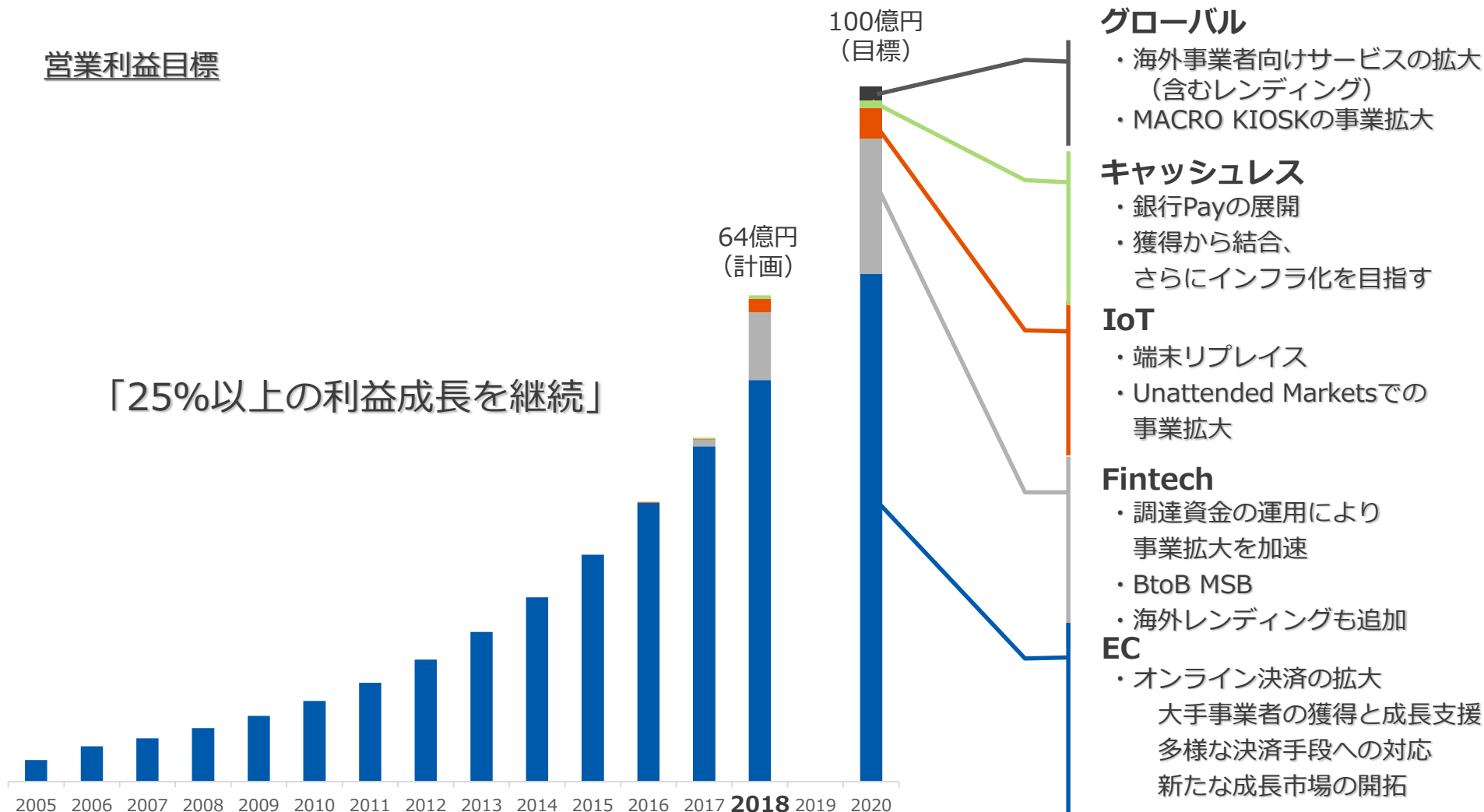
- ・金融サービスへの展開、  
グループ企業拡大による  
利益成長加速
- ・10カ国17社に投資

- ・総合決済/金融サービスの  
アジアNo.1企業に
- ・FinTech拡大  
(2020年度目標)  
関連アセット 600億円～  
約2割の利益貢献

## 2.2 2020年の営業利益目標

### 5つの分野で事業拡大、2020年9月期100億円の営業利益を目指す

営業利益目標



## 2.3.1 EC : 2025年目標への施策

### 成長施策により、EC市場の伸長を凌駕する高成長を目指す

#### 成長施策

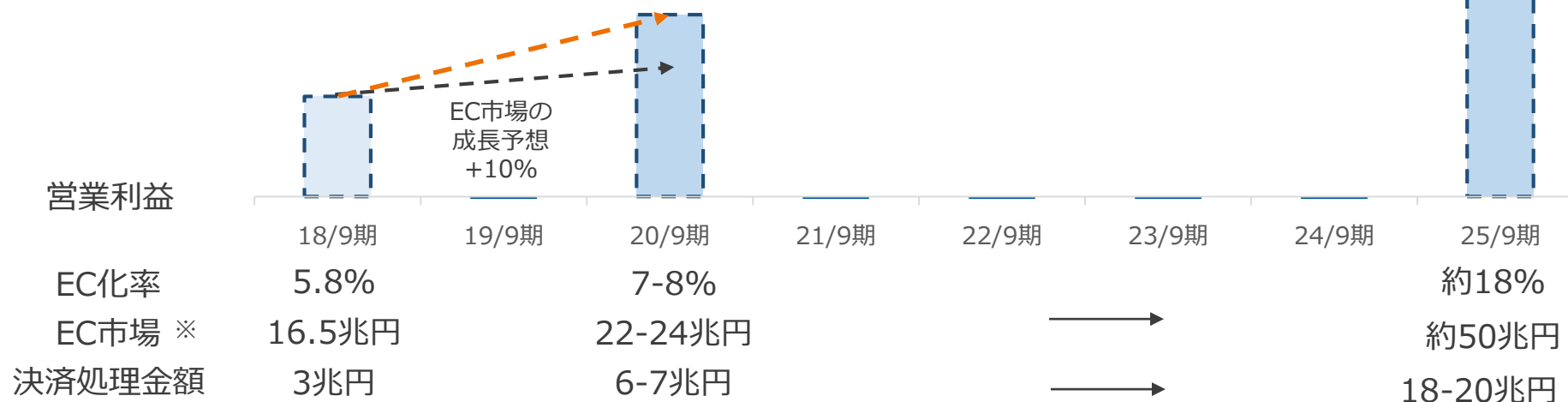
##### BtoC

- ①リーディングカンパニーの獲得とイノベーション
- ②新たな決済手段に対するイニシアチブ
- ③既存サービスの融合によるイノベーション

##### BtoB

- ①大手企業グループ間取引の決済
- ②BtoB向けサービスの多様化（早払い・売掛保証等）

当社はEC領域で  
20%以上の成長を目指す



(※) 経済産業省「平成29年度電子商取引に関する市場調査」、20/9期以降の数値は当社予測

## 2.3.2 EC：成長施策の進捗

### オンライン決済領域は目標を上回り、現状25%成長

#### ■成長施策

##### ①リーディングカンパニーの獲得：

月売上100万円以上の加盟店数が  
2年間で約2倍に



##### ②決済手段の多様化：

	2016-2018比
クレジットカード	1.6倍
クレジットカード以外	3.1倍
コンビニ（前払い）	1.9倍
キャリア決済	3.2倍
口座振替	292.1倍
GMO後払い	6.1倍

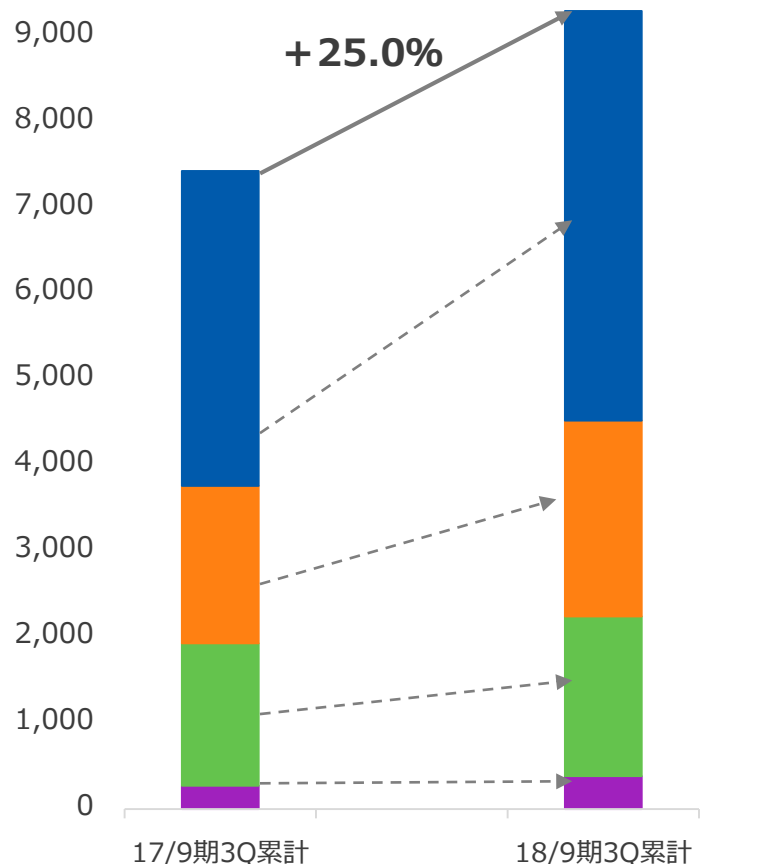
（決済処理金額ベース）

##### ③新たな成長市場の開拓：

BtoB：PG単体の決済処理金額の約4%に  
O2O / サブスクリプション  
インバウンド向けサービス  
EC化がこれから進む業界向け  
医療・教育、等

#### ■オンライン決済（システム開発・銀行Biz・対面除く）

■ スプレッド ■ フィー ■ ストック ■ イニシャル（百万円）



## 2.4 FinTech : サービスの拡充と収益性の向上

### 収益性、資本効率を見極め、調達資金により事業規模の拡大を加速

#### ■ 成長施策

##### ① GMO後払いサービスの拡充

新たな加盟店への展開  
未回収率の更なる改善

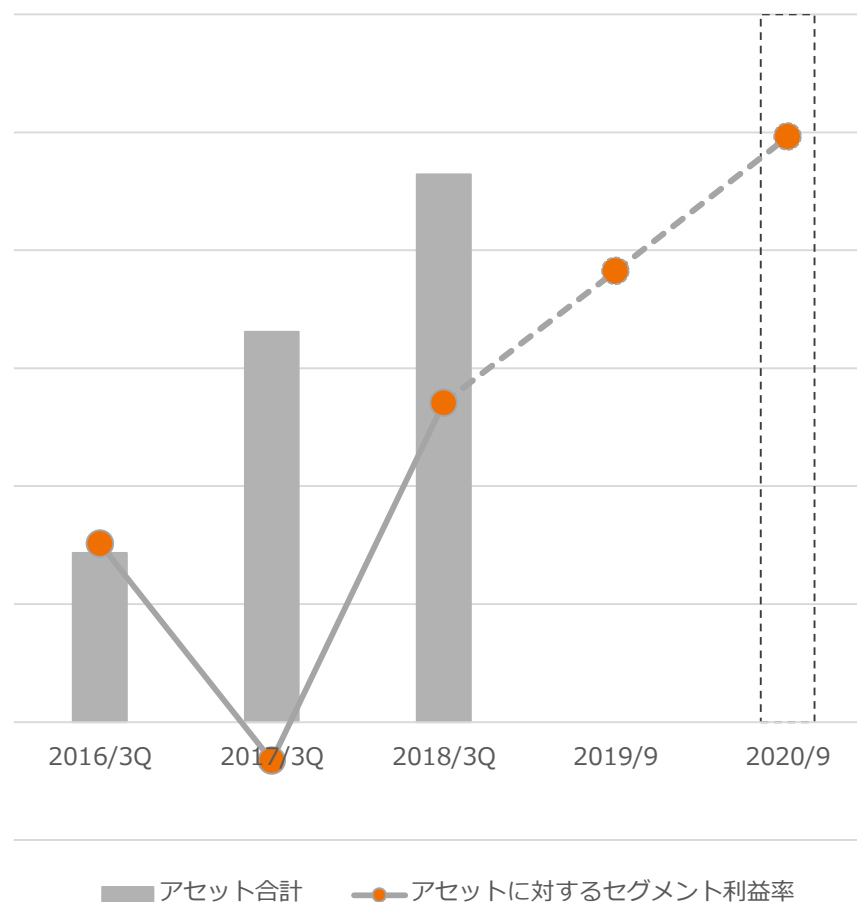
##### ② 海外を含むレンディング事業の拡大

グローバルレンディングサービス開始  
(インドネシア、US)

##### ③ 新サービスと既存サービスの多様化・高度化

BtoB向けMSBサービス提供開始 (2018/5/15)  
・ GMO BtoB早払い  
・ GMO BtoB売掛保証  
送金サービスの収益性向上

#### ■ アセット拡大と収益性向上イメージ



**ユーロ円建CBで調達した資金により  
事業拡大を加速**



## 2.5.1 キャッシュレス：銀行Payのインフラ化

銀行Pay導入行の増加×既存サービスの結合によりインフラ化を目指す

銀行

既存サービス



etc.

銀行×サービスの結合 → インフラ化

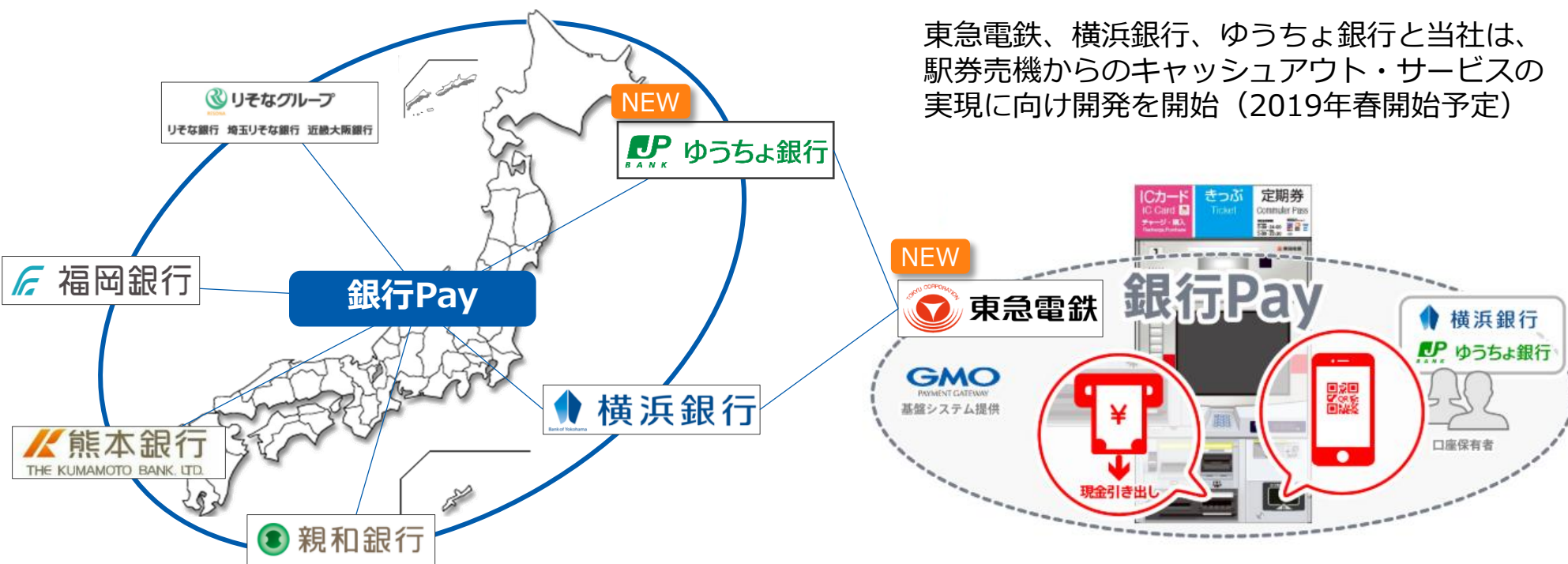
## 2.5.2 キャッシュレス：銀行Payの新たな展開

### 個社の獲得を進め、サービスを結合し、インフラ化を目指す

#### ■ 銀行向けビジネスの拡大

#### ■ 日本初、「銀行Pay」の仕組みを活用した券売機でのキャッシュアウト

東急電鉄、横浜銀行、ゆうちょ銀行と当社は、駅券売機からのキャッシュアウト・サービスの実現に向け開発を開始（2019年春開始予定）



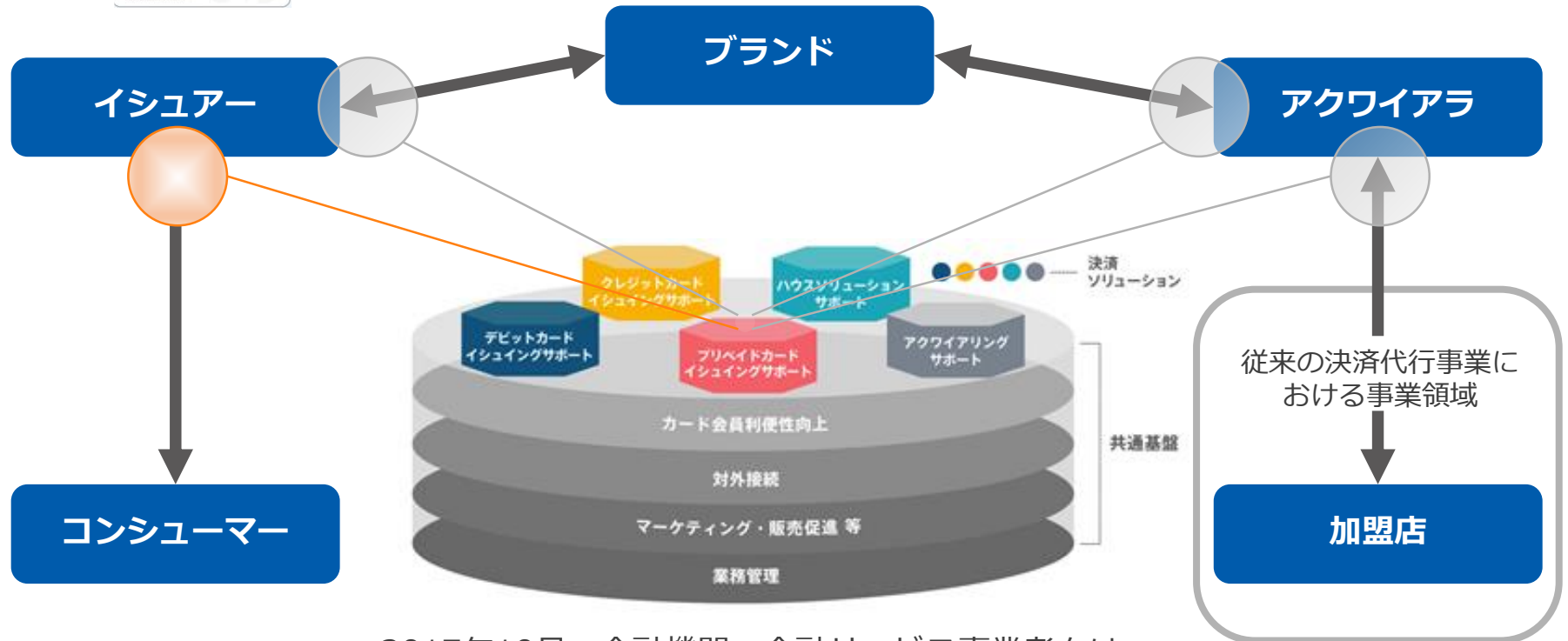
東急線外へのサービス提供も検討

## 2.5.3 キャッシュレス：プロセッシング

### GMOあおぞらネット銀行に決済ソリューションを提供開始



2018年7月  
デビットイシューングを提供  
GMOあおぞらネット銀行



2017年10月 金融機関・金融サービス事業者向け  
「GMOプロセッシングプラットフォーム」提供開始

## 2.6 IoT：対面決済でマネタイズ

### 割販法改正、東京五輪等を機会を捉え高成長を目指す

#### ■ 成長施策

##### ① 割販法改正等に伴う端末のリプレイス需要

磁気テープからICチップ対応へ  
非保持化対応

##### ② Unattended Markets (自動販売・サービス機の総称)



飲料/食品  
自動販売機

約2兆円



券売機

約2兆円



精算機

推定  
69億円



オフィス  
コーヒーマシン

推定  
4,464億円

##### ③ 決済データ×業務データ

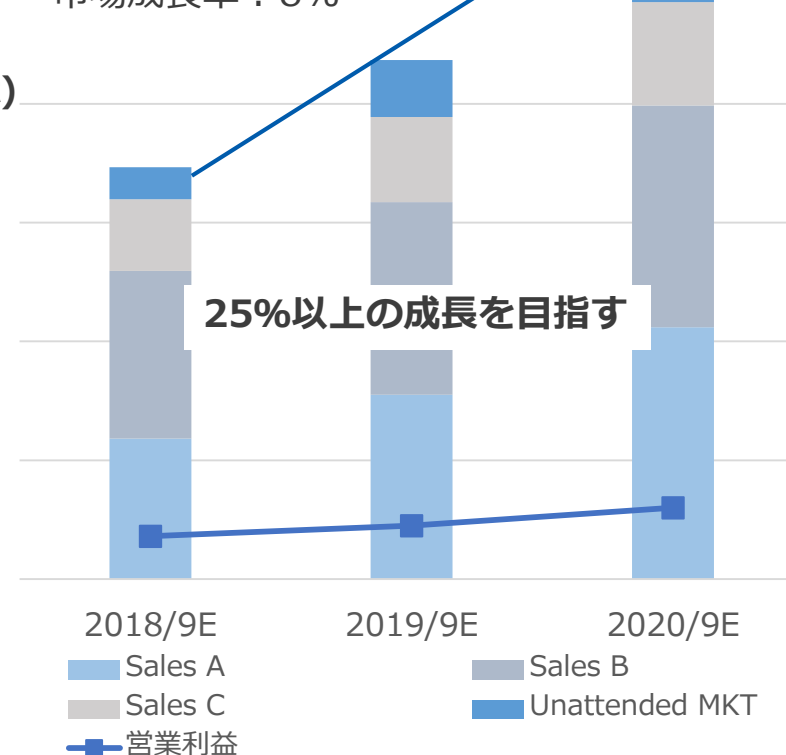
対面決済市場のエコシステムを創出

#### ■ FG/GCSの事業計画

対面市場

市場規模： 60兆円

市場成長率： 8%



## 2.7.1 グローバル・FinTech

### ASEAN、USにおいてグローバルレンディングサービスを開始

国別売上規模年額イメージ (MACROKIOSK社以外)

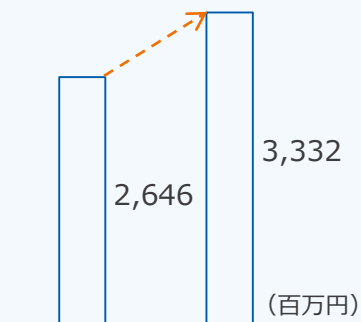
(2018年8月10日時点)

各国のAIを駆使したFinTech  
有名トッププレイヤー等と協業

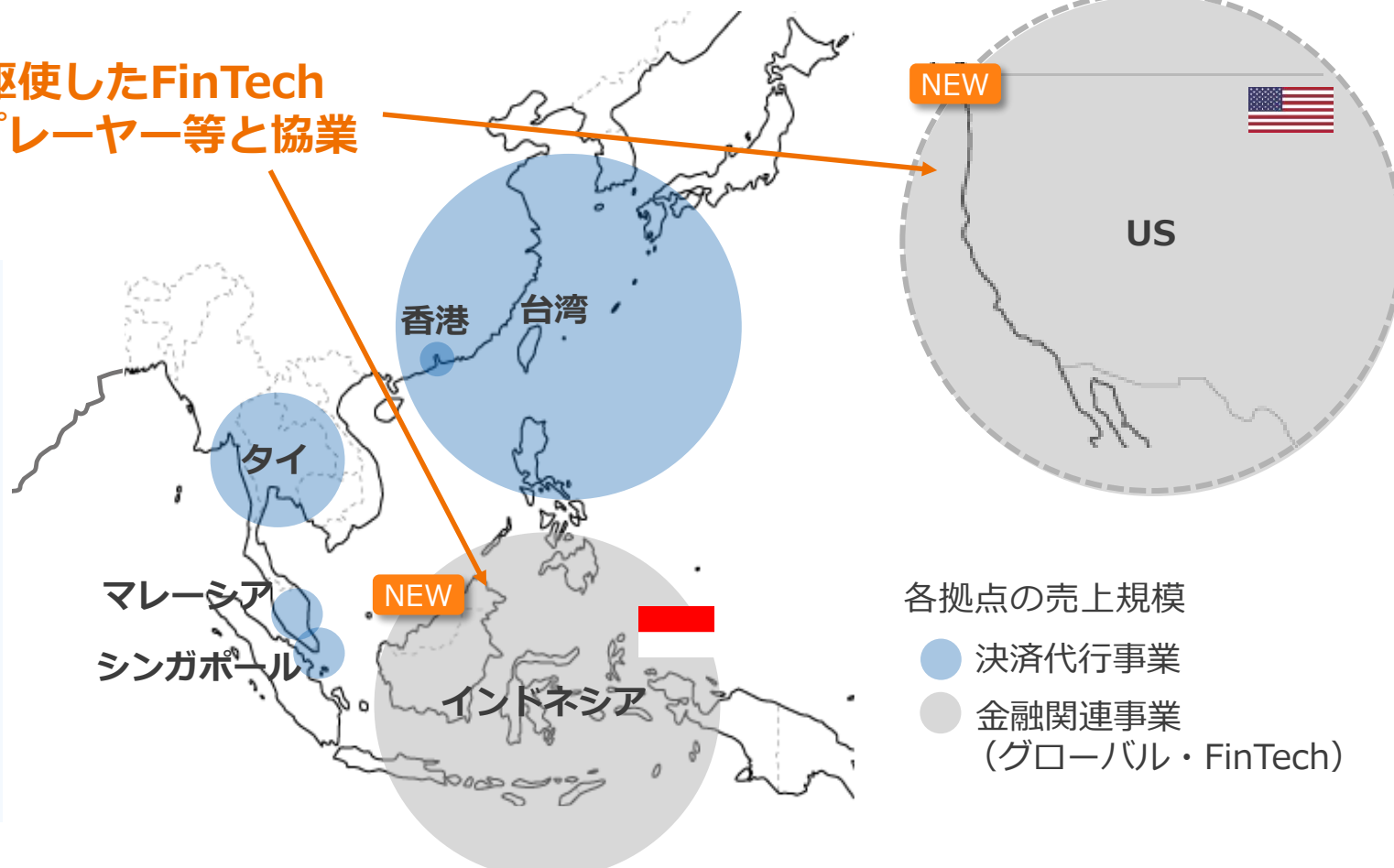
<補足> 決済活性化事業

MACROKIOSK社売上

+26.0%



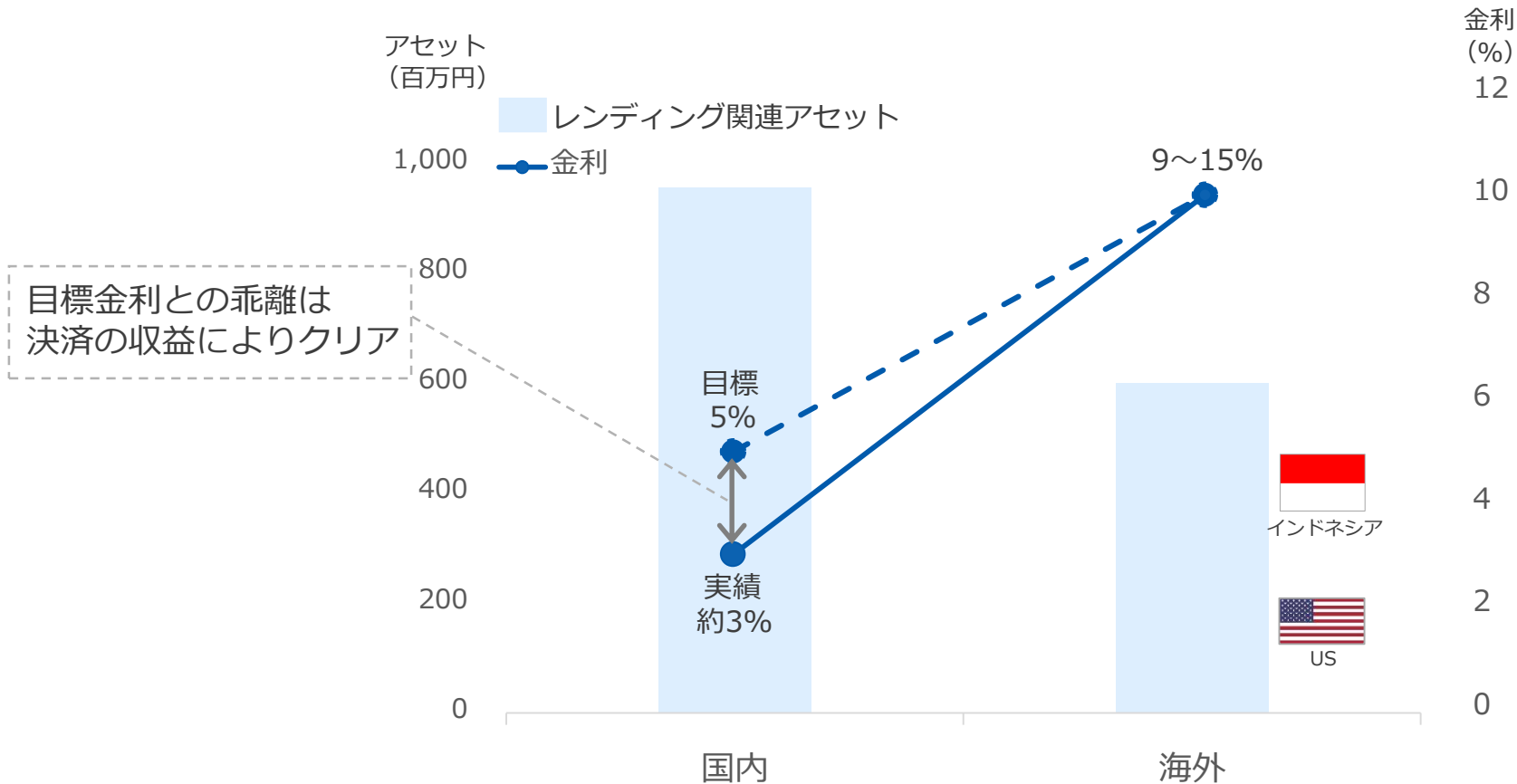
17/3Q累計 18/3Q累計  
(会計基準はJ-GAAP)



## 2.7.2 グローバル・FinTech

### スプレッドが高い海外市場もターゲットシェアを積み上げ

国内外のレンディング関連資産と金利イメージ (2018年8月10日時点)



---

## 3. 財務ハイライト

# 3.1 B/Sの変化

## 預り金及びMSB関連アセットの増加

(単位：百万円)

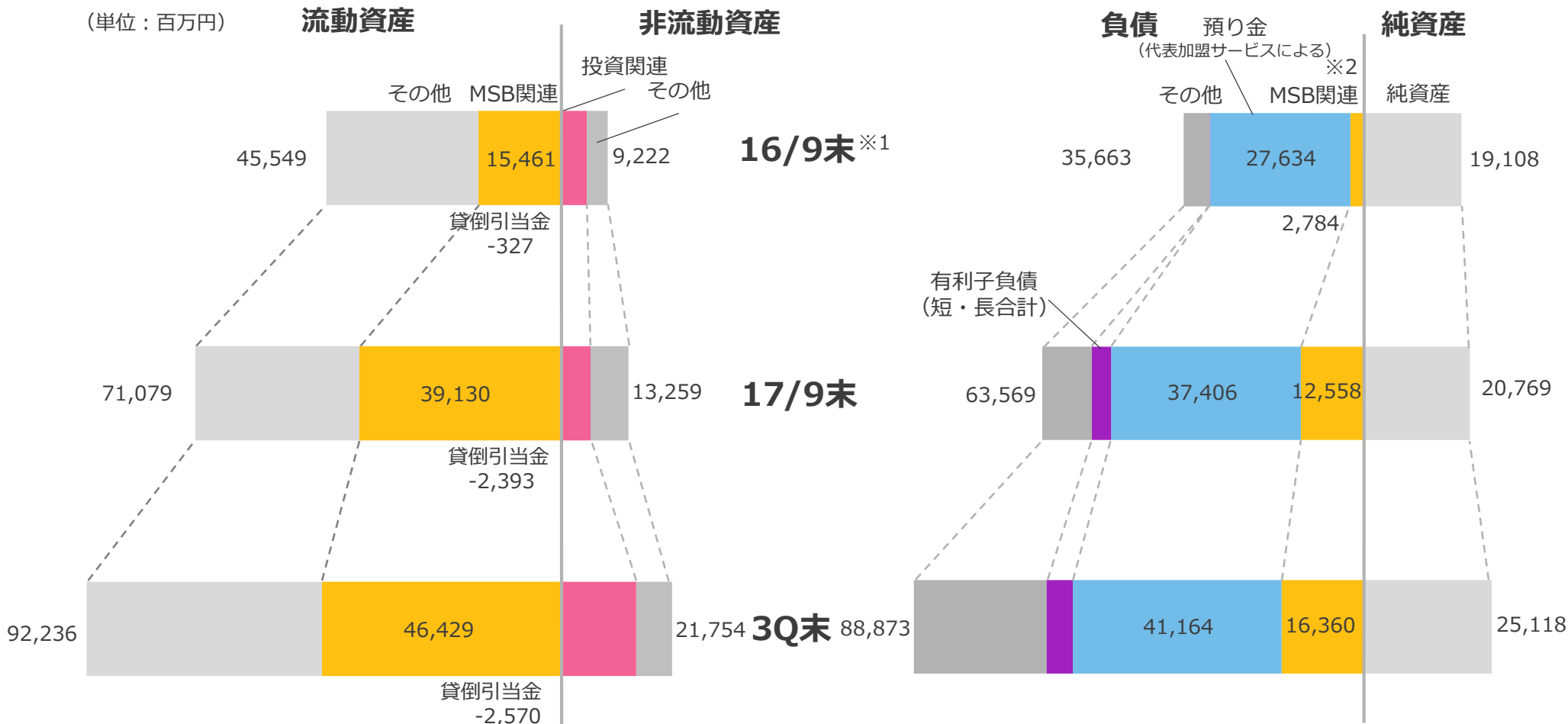
流動資産

非流動資産

負債

預り金  
(代表加盟サービスによる)  
※2

純資産



※MSB関連資産：リース債権、短期貸付金、前渡金、未収入金

※1 2016年9月期の会計基準はJ-GAAP

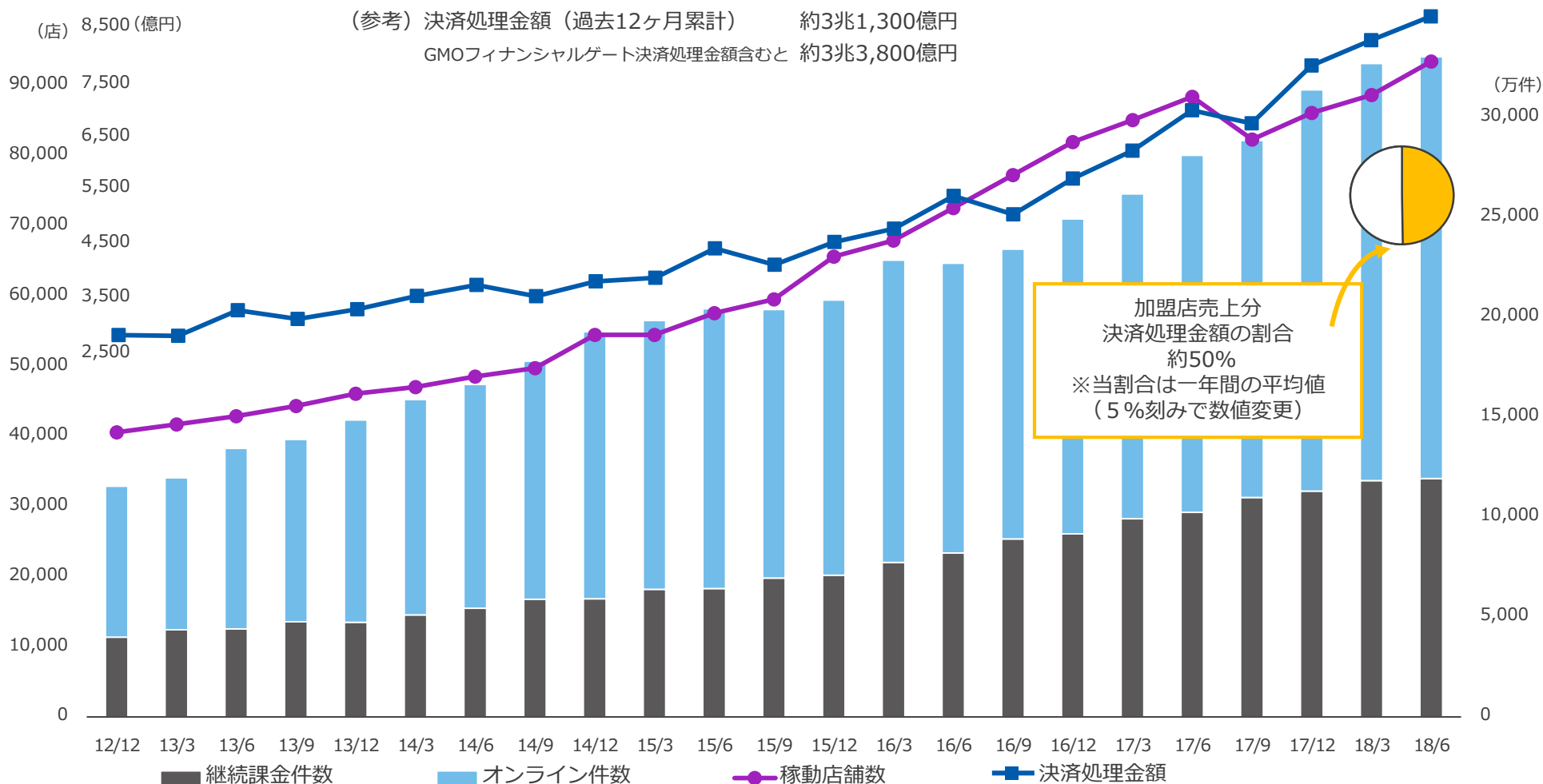
※2 MSB関連負債：未払金



## 3.2 主要KPI推移 (四半期推移)

### 年間決済処理金額は約3兆3千億円に

稼働店舗数 93,450店、決済処理金額 約8,600億円、決済処理件数 約3億4,800万件



※一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により、17/9末稼働店舗数は17/6末比減少

※稼働店舗数は四半期末時点、決済処理金額・件数は各四半期毎の実績

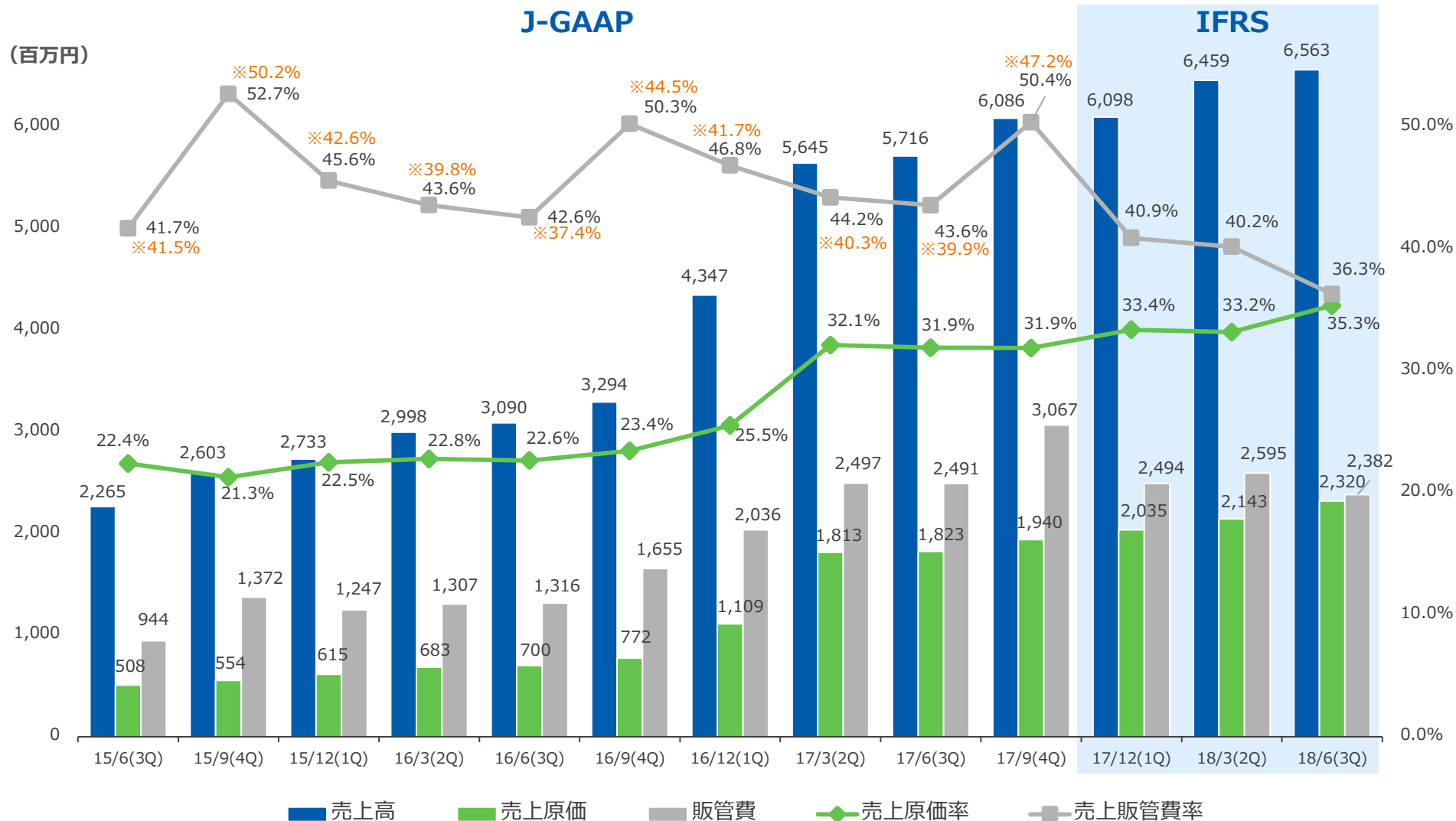
---

## 4. 参考資料等

# 4.1 売上原価率・販管費率（四半期推移）

## 売上構成比の変化により原価率が変動

※MSBに関わる発生外部費用を除いた値  
 会計基準変更につき、17/12(1Q)より販管費に含まれない



# ありがとうございました

## **GMO** PAYMENT GATEWAY

---

GMOペイメントゲートウェイ株式会社  
(東証一部 3769)

IRサイトURL <https://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR室までご連絡ください。

IR室 TEL:03-3464-0182